



## 議事録内容(2/6)

介護福祉課長より次期(第6期)高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に関し、①第6期計画のサービス見込み量等の推計について、②施設・居住系サービス等の基盤整備について、③日常生活圏域の見直しについて、④新しい介護予防・日常生活支援総合事業について、⑤第6期介護保険料段階等の設定についてそれぞれ説明した。

質問・意見等は次のとおり。

## ▼①第6期計画のサービス見込み量等の推計について

委員 将来の計画数値については算式が入っているのだと思うが、今提供されているサービスのなかで、待機者、申込者の状況、サービスが不足しているとか人手が足りないとかその辺の話はどうか。

事務局 現状で訪問介護、通所介護で不足している話は聞いていない。今現在の状況では、近い将来限界がくるのではないかと思う。第6期計画の中で大幅に利用増を見込んでいるが、新たな事業所が来ることを想定して見込んでいる。

委員 特養の待機者については。

事務局 いま特養への申込者は200人前後いる。ただそれは元気な方、老健などとかけもちしている重複者が多数いる。入所者判定委員会で真に必要と判定されている方は10分の1程度。緊急度の高いABランクとされている方は15名程度。予約型の方が多い。

委員 特定施設入所者生活介護の6期計画で大幅な増床となっている。サ付との兼ね合いや、価格帯が安くないところ等その辺の問題についてどう考えているか、ということが1点。また、今後新たな特養整備計画がないなかで、短期入所サービスを増やすというのはどのような考えか、ということが1点。

事務局 特定施設入居者生活介護の関係だが、介護付の施設は現在ラ・デュース恵み野1件(100床)しかないことから、今後道との調整が必要だが50床程度増やす内容で計画している。ショートステイ増加については、市内特養3箇所あるが、3つのうち1つはしばらくショートステイ事業をほとんど稼働させていなかった実態があり、今後は徐々にその1つの受け入れが増加するものと見込んでいる。また、将来的に特養の整備も考えており、その辺を含めた推計となっている。

委員 7ページ目の短期入所療養介護は市内1事業所となっているが、2事業所ではないか。

事務局 訂正する。

## ▼②施設・居住系サービス等の基盤整備について

委員 GHの整備だが、待機もいると思う。GH入居者が介護度上昇、病状悪化などで退所に至る現実がある。ユニットを増やすのは大事だが、医療的な設備の充実など中身のことを考えてもらえると現場として助かる。

事務局 どういうことができるのか。ただ増やすだけではなく、どのようなサービスが想定され、どのような仕様が望ましいか検討しながら進めていきたい。

## ▼③日常生活圏域の見直しについて

委員 見直しの考え方だが、面的なところに高齢者を仕切りをつけて4つに分けるというやり方ではだめ。基本的には病院とか施設とかサービスを提供する拠点が、4つにうまく分散されていけばよいが、そうではなく人数だけ合わせるといことになれば、これから住民組織との関連とか、介護予防の取り組みなど専門職のサポートが重要になってくる。そこがバラバラになってしまうと、実際には4つに分けただけで包括の仕事には偏りが出てくるし、高齢者があちこち移動しなければいけないという問題がでてくる。人数あわせという発想だけでは問題があり、社会資源の配置その他のバランスは計画的にやったとしても、住む人は勝手に住むわけだから、必ずしも高齢者が割り当てどおり住むとは限らず、そのあたりは難しさもあると思う。4つに分けたら包括としての活動もバランスよく運営される、という決め手になる条件としてはどのように考えているか。とくに気になるのが、連合町内会などの住民組織である。普通は各エリア毎で活動されているが、分割の際は住民活動そのものを運営していくうえで「右と左で違ってくる」となってくると情報の提供の仕方、参加を促す取り組みの仕方とも違ってくる。住民組織そのものをまとめなおすことであればいいのだがそれも難しい。協力関係がなかなかちがはぐにな

## 議事録内容(3/6)

	ってしまうと問題ではないかと思い、危惧している。
事務局	社会資源についてバランスよくという部分はなかなか難しい部分である。数合わせだけを考えているわけではなく、とくに6,000人を超えてくる包括についてはなんとかそれ以下にしなければバランスが悪く、まずそこは必ずやりたい。4圏域への見直しは6期に入り平成27年度になるが、こういった分割をしますよという案をまず事前に提示させて頂きたい。分割するとそれぞれ4,000名程度で分割されるが、分割されたエリアに病院などがどのように配置されるかを含めて報告させて頂きたい。
	▼④新しい介護予防・日常生活支援総合事業について なし
	▼⑤第6期介護保険料段階等の設定について
委員	次の標準保険料はいくらか。
事務局	前回3,000円から3,800円に値上げさせてもらったが、今後高齢化などを考えると、今回はそれ以上あげざるを得ない。第5期の全国の平均が5,000円程度、第6期近隣市町村では5,000円を超えるところもあるようだ。このままいくと全国平均は8,000円を超えてくるとも言われている。そういう背景から今回低所得(非課税)のかたについては今回消費税増税分を投入するとなった。その段階の方については今回値上げをしても高くない状況となると思う。
委員	本人非課税と本人課税で割合はどうなっているか。
事務局	現時点で第1段階～第3段階で34%(5,668名)。第4段階で28%、第5段階～第8段階で38%となっている。
	以上